

南相馬市再生可能エネルギー推進ビジョンの概要 ①

【再生可能エネルギー推進ビジョン策定の背景と目的】

本市は、東日本大震災や原子力事故を克服して、一刻も早い市民生活の再建に取り組むために、平成23年12月に「南相馬市復興計画」を策定しました。

この計画では、基本施策として原子力から再生可能エネルギーへの転換やその拠点づくり、省エネルギー政策の推進など環境との共生を目指すことを掲げ、復興に取り組むこととしています。

本ビジョンは、本市の復興を遂げるための重要な施策として再生可能エネルギーを推進するため、再生可能エネルギーの活用や省エネルギーの推進を市民・事業者・市が一体となって取り組むための導入目標を掲げて、基本的な取組みの方向を示すことを目的とするものです。

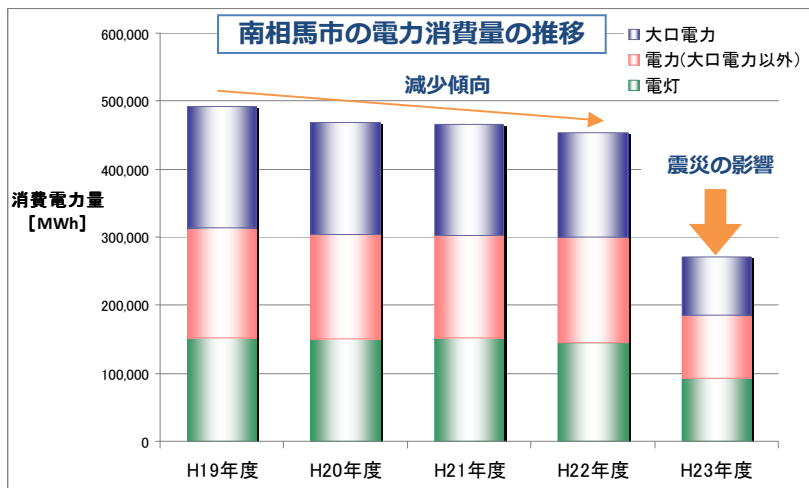
また、本ビジョンの取組みは、東日本大震災前の産業の再生を促し、さらには新たな産業の創出や、市民生活の中でエネルギーを最適に活用する地域に根ざしたエネルギーの地産地消を目指します。

【本ビジョンの推進期間】

推進期間は、南相馬市復興計画と整合を図り、平成24年度から平成32年度までの概ね10年間とします。ただし導入目標値については平成33年度以降の数値も掲げることとします。

【南相馬市のエネルギー消費量】

電力消費量、熱エネルギー消費量ともに直近の5年間では減少傾向にありましたが、東日本大震災の影響により平成23年度の電力消費量は、ほぼ半減しています。



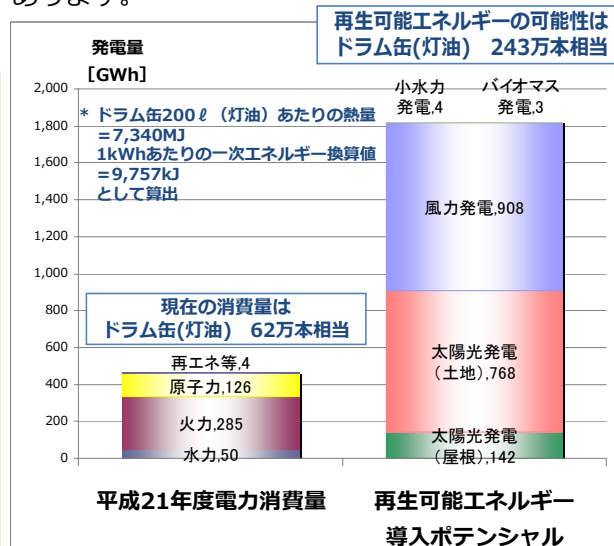
【再生可能エネルギーとは】

再生可能エネルギーは、従来の化石燃料と異なり、資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない優れたエネルギーです。

再生可能エネルギー	内 容
太陽光発電	太陽光の持つエネルギーで発電します。屋根設置のものほかに土地設置による大規模発電施設もあります。
風力発電	風力で風車を回して発電します。陸上設置のものほかに洋上風力発電もあります。
小水力発電	農業用水路や小さな河川の水流を利用して発電する施設です。
地熱発電	地下に蓄えられた地熱エネルギーを蒸気や熱水などの形で取り出し、タービンを回転させ発電します。
太陽熱、その他温度差熱利用	太陽の熱を集熱器で集め、給湯や冷暖房に使用します。その他河川、地中などの温度差を利用します。
バイオマス発電・熱利用	木材、植物、動物のふん尿などを燃焼させたり、発酵させたガスを燃料にして発電したり、熱を利用します。

【南相馬市の再生可能エネルギー】

南相馬市には豊富な再生可能エネルギー資源があります。



【アンケート調査】

再生可能エネルギーについての市民・事業者アンケートを実施しました。

（アンケート結果の概要）

- ◇ 市民の約半数が太陽光発電を「導入済、あるいは導入を検討している」と回答しています。
- ◇ 導入の視点として、市民は「地域環境への貢献、災害時の非常用電源」、事業所は「経済性、コスト、省エネ効果」が重視されています。
- ◇ 市民・事業者の約8割が「省エネルギーに取り組んでいる」と回答しています。
- ◇ 事業参加意向として、事業所では「事業所内に発電施設を導入する」、次いで「発電事業に一部出資する」という回答が多くありました。
- ◇ 事業所では「導入時の経済効果、事業費負担」など、経済性やコストに関して懸念する回答が多くありました。

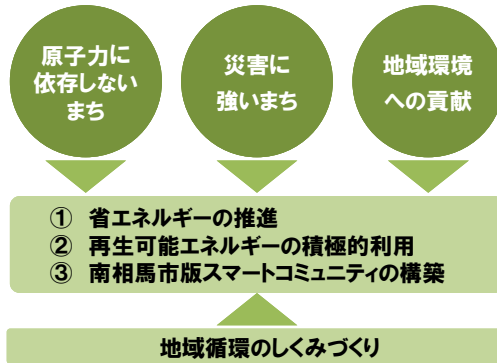
南相馬市再生可能エネルギー推進ビジョンの概要 ②

【再生可能エネルギー推進のため基本方針】

本市の再生可能エネルギーの推進にあたっては、「原子力に依存しないまち」「災害に強いまち」「地域環境への貢献」の3つの視点を踏まえ、

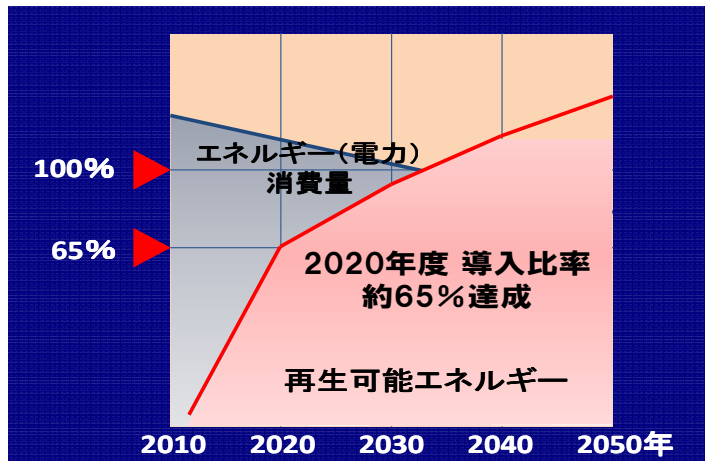
- ① 省エネルギーの推進
- ② 再生可能エネルギーの積極的利用
- ③ 南相馬市版スマートコミュニティの構築

の3つを本ビジョンの基本方針に定めるとともに、地域の経済的自立や環境との共生などを目指すため、「地域循環のしくみ」にも取り組むこととします。



【本ビジョンの目標値】

原子力発電への依存から脱却するため、**本市の消費電力あるいはそれ以上の電力を再生可能エネルギーで生み出すことを目指す**こととし、本ビジョンの最終目標年である2020（平成32）年度の目標値を再生可能エネルギー導入比率の約65%とし、2030（平成42）年度にはほぼ100%を目標に設定します。



【再生可能エネルギー推進の基本施策】

省エネルギーの推進

- ◇ 環境学習を推進し、環境情報を市民・事業者へ提供します。
- ◇ 家庭や企業における省エネルギーの取組みを支援します。
- ◇ 公共施設における省エネルギーの取組みを推進します。

再生可能エネルギーの積極的利用

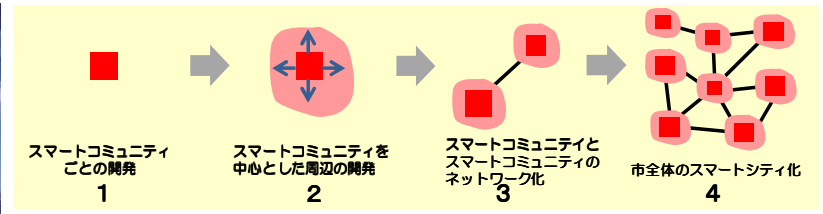
- ◇ 太陽光発電設備等の導入を促進します。
- ◇ 公共施設には率先して再生可能エネルギーを導入します。
- ◇ 再生可能エネルギー関連機関・企業の誘致を推進します。

南相馬市版スマートコミュニティの構築

- ◇ 大災害を教訓として安全・安心な“南相馬市版”スマートコミュニティを構築します。
- ◇ 災害公営住宅や災害移転住宅を中心に、モデル事業として小規模なスマートコミュニティを形成し、本市におけるモデルを創ります。



再生可能エネルギーによる発電例



小規模スマートコミュニティのネットワーク化

【地域循環のしくみづくりのイメージ】

太陽光発電事業によって生み出されたエネルギーの一部は、新しい農業「植物工場」で利用され、そこで作られた安全・安心な作物を加工、流通、販売する事業が次々に生まれることで、地域の雇用が確保され、経済が活性化します。

また、このような取組みを学習教材や観光資源としても活用し、広く市内及び地域外に周知することにより、多くの人々の意識を高め、共感を生み、さらに新しいアイデアや資金を呼び込むことにも効果があると考えられます。



・発電した電気を植物工場に供給する



・太陽光発電の電気を水耕用ポンプや空調などに利用する



・発電所や農業の体験学習を通じて、自ら考えて行動する力を修得できる
・地元と全国の交流を促進する